**第１２回登別市市民自治推進委員会　産業躍動部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年１０月５日（木）１８：３０～

◆ 開催場所：アーニス２階　会議室

◆ 出席部会員：副部会長　川田　弘教

　　　　　　　 部会員　　吉田　武史

近井　一夫

　　　　　　　　　　　　 安達　陽子

　　　　　　　　　　　 森元　俊明（協働推進庁内委員会部会長）

【観光経済部次長】

大澤　玲裕（協働推進庁内委員会副部会長）

　　　　　【観光経済部商工労政グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 大越　智輝

◆ 欠席部会員：部会長　　髙橋　弘康

部会員　　鈴木　高士

小川　賢

◆ 事　務　局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　 　伊藤　慶一郎【市民生活部市民協働グループ主査】

◆ 議　題：「健康」に関する取り組みについて

≪副部会長≫

　まず、料理教室の準備で安達さんには、大変ご苦労をおかけしています。ありがとうございます。

　メニューも決まって募集もかけている状況ですけれど、今のところ応募は来ていますか。

≪事務局≫

　現在３名からお申し込みをいただいています。７０歳前後の方が２名、４０代前半の方が１名で、４０代前半の方は託児が必要とのことです。

　引き続き、市でご案内をしていこうと思っています。

≪副部会長≫

　募集定員が２４名ということなので、できれば会員の皆さんにご協力いただいて、知り合いにも声かけしていただければと思います。

　当日、吉田さんはご出席できないということでしたね。

≪部会員≫

　代理の者が出席して鮭を切ります。鮭はおろすだけでいいですか。切り分けとかもしたほうがいいですか。

≪部会員≫

　市販の切り身のようにしていただければ。

≪部会員≫

　食材に関しての講話は？

≪部会員≫

　当初は栄養の話が出ていましたが、栄養は調理しながらでも話せるので、やはりこの辺で獲れる食材の話ではどうでしょう。

≪事務局≫

　しんた２１での食育事業のときは、子ども向けの内容として農林水産グループの職員が漁港で獲れる魚を時期別に紹介したり、健康推進グループの職員が漢字のクイズをしたりしました。

≪部会員≫

　今回は時間も限られているので、事務局から牛肉について簡単にお話いただければ。

≪事務局≫

　農林水産グループから資料をもらって説明します。

　時間については、部会員は９時集合で、９時４０分から２０分間受付。１０時から１０時２０分まで開会宣言、婦人センター講座や市民自治推進委員会の概要説明、講話。１０時３０分まで鮭1本を捌き、それを参加者に見ていただく。それから調理開始で良いでしょうか。

≪部会員≫

　料理の数が少ないので、１２時くらいには調理が終わって試食に入れますね。試食も含めて１３時くらいまででしょうか。

≪部会員≫

　タイムスケジュールはそれでいいですね。

≪部会員≫

　鮭は事務局で用意していただけるのですか。

≪事務局≫

　はい。すでに捌いているものと実際当日捌くもので２本あれば良いですね。

≪部会員≫

　他の食材は？

≪部会員≫

　２４名＋予備分という前提で、必要な食材の種類と数を計算して事務局にお知らせします。

≪事務局≫

　必要数量が分かれば事務局で用意しておきます。

≪部会員≫

　傷みやすい食材もあるので、当日の朝、食材を各テーブルに運ばなければいけませんね。９時集合で間に合うでしょうか。

≪事務局≫

　安達部会員と消費者協会の方３人、それにお手伝いしてくださる方は８時半集合ということで、管理人に言っておきます。

　また、２升炊きの炊飯器は、ふぉれすと鉱山から金曜日のうちに借りて、会場にあらかじめ運んでおきます。

≪部会員≫

　もうひとつ事前準備として、パンナコッタは固まるのに時間がかかるので、私たちが前の日に作っておきます。

≪部会員≫

　試食する場所は？

≪事務局≫

　当日、調理室と向かいの講習室、和室を押さえておりますので、どこででも大丈夫です。

≪部会員≫

　当日配布するアンケートはどのような内容ですか？

≪事務局≫

　今日の料理はどうだったか、今後どういう料理教室があったら参加したいか、などです。

≪部会員≫

　では、ヘルシー料理教室に関してはよろしいですか。

　続きまして、来年度に向けての予算措置ということで、何か実施してみたい事業等はありますか。

≪事務局≫

　ちょうど予算要求の時期になっていますので、料理教室について健康推進グループに確認したところ、市民協働グループでは今年度と同様に要求してくださいという話がありましたので、５万円を要求する予定でいます。

今年度は商工労政グループの婦人センター講座の枠内で開催することとしていますが、制約が多く自由度が低いので、もし料理教室をするのであれば別の方法が良いと考えております。消費者協会が地場産品を使った料理教室を実施されているので、タイアップという形を取るのも良いかと思います。

≪部会員≫

　地場産品ではなく、米と牛乳の拡大事業です。道産の米と牛乳を使っていれば、他の材料には縛りがありません。

道産の米と牛乳を使った料理教室には、ホクレンの普及事業の資金が当たるので、消費者協会ではそれを利用して１年に１回か２回は料理教室をやっています。３０年度も少し予算が付くようなので、会長に産業躍動部会とのタイアップの話をして、おおむね同意を得られています。

≪事務局≫

　消費者協会と一緒にやることも、市民会館やしんた２１を使って部会独自にやることも可能です。どういう形が良いのか話し合いましょう。

≪部会員≫

　時期としては、何月頃を想定すればいいですか。

≪事務局≫

　時期はいつでも大丈夫です。ただ、平成３０年度の予算なので、年度が始まってから部会を開催して、改めて時期を決めることになります。

≪部会員≫

　何かいいイメージやアイデアありますか。

私は地元の漁師から言われたのですけれど、登別にはほぼ通年捕れる真鱈がありますが、市場に出回らない傷ものが結構あるそうなのです。地元でそういう真鱈を食べる習慣をつければ、活用のチャンスがあると思います。

市民農園でじゃがいもを仕込めばフィッシュ＆チップスができそうです。

≪部会員≫

　料理教室じゃなくても、健康に関する事なら良いのですよね。料理教室だと対象人数が少なくてこじんまりしてしまうから。

≪部会員≫

　料理教室に関しては、キッチンスタジアムのように、参加者だけではなく一般の方にも見学していただいて、登別牛乳などをＰＲする仕掛けをしてみたらどうかなと思います。１日１杯運動じゃないですけれど。のぼりべつ酪農館の話を聞くと、やはり牛乳は健康に良いそうで、その中でも品質の良い登別牛乳を多くの市民に飲んでいただいて、消費してもらうという取り組みができれば良いです。

≪部会員≫

　登別温泉のお風呂の掃除をみんなで体験して１番風呂に入ろうとか。まほろばは日帰り入浴をやっていないから、昼に清掃をしています。

≪事務局≫

　それなら予算もかからず、良いですね。

　実は１０月２４日に部会長副部会長会議があり、そこで今後の取り組み予定について各部会が発表し、進捗について情報共有することとなっています。

現在の進捗は部会ごとにまちまちで、例えば都市調和部会はウォーキングマップをつくろうとしているのですけれども、そこは社会教育グループの今年度の事業でやっているところなので、今年度中には必ず終わります。一方、これから調査が必要で時間がかかりそうなところもあり、部会によって進み具合が違います。

健康というテーマは本来ぬくもり部会が扱うべきテーマなので、そのぬくもり部会に集約しようかという話も出ています。産業躍動部会については、今は料理教室を実施していますが、第３期基本計画の中の事業と連携した事業を平行して検討しても良いですね。

≪部会員≫

　健康に関連づけるとなると、視野が狭くなってしまう気がします。

≪部会員≫

　山岳会の人たちに高山植物や山菜について教えてもらいながらオロフレ峠の山を登るのはいかがでしょう。

≪事務局≫

　予算について、今年度は料理教室の予算をつけています。しんた２１での料理教室は、来年度もやりたいという話なので、来年度も同じような形で要求しようと思っています。自治推進委員会単独でやるのか、消費者協会と連携してやるのかということは考えなくてはいけません。自分たちでやるなら材料費をつけ、消費者協会と連携するのであれば消費者協会への補助金や負担金という形をとることになります。

≪部会員≫

　今年は親子を対象として地場産品を使った料理教室を開催しましたね。今後は大人向けの地場産品を使った教室というのも考えられますね。市民会館を借りるなどして。

≪部会員≫

　自治推進委員会の単独事業と消費者協会との共催事業、２本立ても考えられるでしょうか。

≪事務局≫

　そのどちらかかと思っています。同じような事業をするのであれば消費者協会と一緒にやったほうがいいのかなという気がします。今年も消費者協会で地場産品を使った料理教室を開催しますね。

≪部会員≫

　１１月にやります。消費者協会のほうは必ず１年に１回やりますから、それを利用されても結構です。皆さんがそれで良ければ。

≪事務局≫

　消費者協会の事業をベースに、我々がアイデアを出し、お手伝いをして、共催という形でも実施できますね。

≪部会員≫

　事業の大体の形は決まっているので、地場産の材料を使う部分が相談どころかと思います。

市民自治推進委員会の単独でやるとなったら、企画から全部好きなようにできますが、予算は多く必要かと思います。

≪部会員≫

　消費者協会にお願いしたほうが良いですね。

≪部会員≫

　市の予算については、買える材料やお店に制限はあるのですか。

≪事務局≫

　購入できる店は限られます。

≪部会員≫

　消費者協会は安いスーパーで買うようにしているので、それは困ります。

≪事務局≫

　負担金という形で消費者協会に渡すようにすると、自由に使えます。

≪部会員≫

　わかりました。

≪部会員≫

　消費者協会では、毎年やっていて費用面で困ることはありますか。

≪部会員≫

　北海道から４万５千円もらっているほか、参加者１人あたり７００円を集めていて、それがほとんど食材費になります。赤字にならないようにはやっています。

≪部会員≫

　自治推進委員会とタイアップして市の予算が付くことで、事業内容がより良くなりますね。

≪事務局≫

　もし負担金として予算要求をするとして、どれくらいの額があれば良いものでしょうか。

≪部会員≫

　ある予算の中で何とかしようと思って工夫しているので、それがいくらか増えるとなったら、その範囲内で考えが変わってきますよね。

≪事務局≫

　何人くらいの規模でやっているのですか。

≪部会員≫

　大体４０人から４５人くらいで、１つのテーブルで７人から８人くらい。お断りするくらい参加していただいています。

　次回について、使うべき食材を教えていただければ、メニューを考えます。

≪部会員≫

　毎年開催時期は決まっているのですか。

≪部会員≫

　今年は６月牛乳やって１１月に米でした。牛乳だけの年もあるので、その場合は６月だけです。

≪事務局≫

　では、２回ある程度自由に使えるような負担金を要求するような形で、来年度の予算をつけることにしたいと思います。

≪部会員≫

　いいです。それでやってみましょう。